

オーストラリアで綺麗に観ることができる星

星座や星の明るさを知ったところで、では、実際オーストラリアで観ることができる星はどんなものがあるのでしょうか。南半球だけに見える星座として、36星座ありますが、代表的なものを紹介します。

オーストラリア★パース★星

みなみじゅうじ座

オーストラリアといえば、みなみじゅうじ座。『南十字星』の愛称で、オーストラリアの国旗や国章、2ドル硬貨にも描かれており、また本誌12月号で紹介した国歌の中でも歌われています。全天で最も小さい星座ですが、1等星を2つ持ち、1年中見られます。

天の川が観える暗い場所ではみなみじゅうじ座の左下にぽっかり空いた穴のようなものが見えます。これは『石炭袋（コールサック）』と呼ばれる暗黒星雲があるためです。また、望遠鏡を使えば、十字の短辺を作っている星付近に『宝石箱（ジュエルボックス）』と呼ばれる大変美しい星団を観ることができます。

※右写真に対するみなみじゅうじ座の位置



© Akira Fuji / David Malin Images



© Akira Fuji / David Malin Images

カメレオン座

カメレオン座は日本からは全く見えない4星座のうちの1つです。カメレオン座の口先にあた位置には、餌となる『はえ座』も設定されています。みなみじゅうじ座から十字の長辺を南に3倍ほど伸ばしたところに位置し、横長のひし形をしています。



© Akira Fuji / David Malin Images

ケンタウルス座

みなみじゅうじ座のすぐ近くにある、明るく大きな星座で、北緯35度以北の地域（日本では九州以南以降の地域）では、この星座の全体を見ることができます。ケンタウルスの足に当たる部分に輝く星『リギル』は太陽に最も近い恒星として有名で、その横に位置する星『ハダル』との距離を延長すると、みなみじゅうじ座にあたることから『サザン・ポインターズ』とも呼ばれています。



© Akira Fuji / David Malin Images



天の川

天の川は、夜空を横切るように存在する膨大な数の恒星が集まった雲状の光の帯で、銀河とも呼ばれます。天の川のあちこちに暗い部分があるのは、そこに星がないのではなく、南十字星の『石炭袋（コールサック）』のような暗黒星雲があって、その向こうの星を隠しているためです。

世界的な天体写真家・藤井旭氏

世界的に有名な天体写真家、イラストレーター。1969年に白河天体観測所、1995年に西オーストラリアでチロ天文台南天ステーションを建設。主な著書は『星になったチロ』。同氏が撮影した星空の写真は、David Malin Images (DMI) のウェブサイト (www.davidmalin.com) で閲覧できる。